

特別支援教室だより

令和6年 1月 31日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信
令和5年度 No.10

【 今回のテーマ 】

ぶつかったり、けがをしたりしても痛がらず平気である子
服の素材や襟の具合等、衣服への違和感やこだわりが強い



【 こんな場面で困難さが見られます 】

皮膚全体にセンサーを張り巡らせている触覚は、触った物が何であるか（形・素材・大きさ等）を認知する機能と、対象物が有害なものかを瞬時に判断する機能を備えています。これらの機能に鈍感さや敏感さといった偏りがあると、けがを負ってもそのままにしている、衣服へのこだわりがある、スキンシップを嫌がり愛着や共感の土台を築きづらい等、日常生活場面において様々なつまずきが起こりうるということが考えられます。

【 出来ることはなんでしょう 】

つまずきを軽減するには、触覚を使った経験を丁寧に積み上げ、触覚のバランスを整えていくことが大切です。

例えば・・・

○絵の具を指先につけて、紙にスタンプのように押す。

→触覚への拒否感をやわらげていくことができます。絵の具が触れる面積が広くなると難易度も上がります。

○バランスボールにうつぶせに乗り、相手に背中を押してもらったり、ボールを揺らしてもらったりする。

→他者に身体を触れられる場面が多くなるので、触覚の敏感さの軽減にもつながっていきます。

○タオルを丸めてキャッチボール

→バンダナ、マフラー等、素材を変えていくことで、様々な触感を経験できます。

その他にも、周囲の大人が目を配り、体調やけがなど気になったことについて本人へ声かけを行い、気付きを促していくことも大切です。

一人一人の子に合った方法で、楽しみながら取り組んでいけると良いと思います。

本校には5名の巡回指導教員がおります。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

